



平成28年11月10日

所沢市議会議長 中 毅 志 様

所沢市議会政策研究審議会

会 長 西 村 昭 治

答 申 書

平成28年7月26日付け所議第269号により諮問のありました下記の事項について、別紙のとおり答申いたします。

記

諮問事項

- (1) 大学生等の消防団への入団促進策について
- (2) 議会評価について
- (3) 選挙権年齢引き下げに伴う大学生による教育プログラムの構築について

別 紙

本審議会は、平成28年7月26日、中 毅志議長より諮問のあった3件の事項について審議を行いました。

当日は、事前に配布された会議資料及び諮問事項を提案した各委員会の委員長からの概要説明を基に、質疑・意見交換を行いました。

その後の委員間の意見調整を踏まえ、以下のとおりお答えするものです。

1 大学生等の消防団への入団促進策について

- ・ 会長の所属する機関において、提案の趣旨は理解されているところなので、今後市の所管との連携を図るための方策について、総務経済常任委員会において更に協議を進めていただきたい。
- ・ 前項の推進にあたっては、市内に在住し都内などの大学に通学している学生が地域の防災や消防団活動に関わる基盤づくりの視点も組み合わせて考えていただきたい。
- ・ 提言の4に関して、消防団参加に向けた交流から進めるよう取り組まれない。第一歩として、市内に合宿所を持つ運動部のマネージャーや代表者と地域の消防団の交流や意見交換の機会の設定を進めることを提案します。
- ・ 提言の5に関して、市内大学の学生の消防団活動はもとより部活動など市外で活動する際の広報・啓発活動を功績と認め、「学生消防団活動認証制度」の対象として学生の就職活動を支援するなど、相互の“WinWin”関係を構築できるよう取り組まれない。
- ・ 消防団が街中での存在感を増すことができるよう消防点検の実施場所を工夫するなどして、知名度を高めていくことも必要と考えます。

2 議会評価について

- ・ 市議会として、議会基本条例に議会評価を規定し、毎年度評価を行い市民に公表していることに関しては、評価するところです。

今回当審議会が第三者機関としての評価を求められていることに関して、的確な評価を行うためにはその事業の詳細を把握する必要がありますが、現行のフォーマットでは評価のための情報量が充分とはいえない状況であると判断します。

当審議会との情報共有を図り、市議会の課題を共通認識するなど、評価の土壌づくりから始めることとし、審議の中で適宜評価を行いたいと考えます。

3 選挙権年齢引き下げに伴う大学生による教育プログラムの構築について

- ・ 市内の小学校、中学校、高等学校の生徒を対象に、地域社会の関わりを選挙を通じて考える場となるような学習プログラムを市議会と大学が連携して構築するという提案は非常に有意義な取組であると考えます。

市議会と大学、大学と地域の教育機関など、それぞれのネットワークを活用しながら検討を進め、教育現場に還元できるよう期待するものです。

- ・ 議会においてプログラムの検討を進めるにあたっては、提案された委員会のみならず所管の常任委員会とも連携し、小中高生への啓発等における議会の役割、議会が担う範囲などについて十分協議し、大学との連携を進めるよう望みます。